4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 固定資産の評価基準及び評価方法

リース資産……所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用している。

イ 引当金の計上基準

退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため，当事業年度における退職給付債務について，期末自己都合要支給額の100％相当額を計上している。

貸倒引当金……債権の貸倒による損失に備えるため，一般債権については過去の貸倒実績をもとに算出した貸倒実績率により，貸倒懸念債権等特定の債権については，個別に回収可能性を検討し，回収不能見込額を計上している。

ウ キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

現金及び3ヶ月以内に現金となる預金を資金としている。

エ 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は，次のとおりである。 （単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	61,180,000	0	0	61,180,000
小　計	61,180,000	0	0	61,180,000
特定資産				
退職給付引当資産	7,456,833	637,376	0	8,094,209
郡教育振興基金特定資産	171,731,504	927,179	1,674,082	170,984,601
高等学校奨学金特定資産	53,140,000	1,170,000	590,000	53,720,000
小　計	232,328,337	2,734,555	2,264,082	232,798,810
合　計	293,508,337	2,734,555	2,264,082	293,978,810

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は，次のとおりである。 （単位：円）

科　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金	61,180,000	(61,180,000)	(0)	(0)
小　計	61,180,000	(61,180,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	8,094,209	(0)	(0)	(8,094,209)
郡教育振興基金特定資産	170,984,601	(169,484,601)	(1,500,000)	(0)
高等学校奨学金特定資産	53,720,000	(53,720,000)	(0)	(0)
小　計	232,798,810	(223,204,601)	(1,500,000)	(8,094,209)
合　計	293,978,810	(284,384,601)	(1,500,000)	(8,094,209)

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

（単位:円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	6,998,310	1,866,216	5,132,094

(5) 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

（単位:円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
福岡市補助金	福岡市	0	51,763,615	51,763,615	0	
合　計		0	51,763,615	51,763,615	0	

(6) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は，次のとおりである。

（単位:円）

内　容	金　額
目的に応じた使途による指定解除額	969,208
合　計	969,208